

GX率先実行宣言

社会全体のGX加速化に向けて、GX製品・サービスの早期社会実装が極めて重要であることから、当社は自らのScope 1、2の削減取組に加え、これらの製品・サービスが有するGX価値の評価を通じてGX製品の社会実装に積極的に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進することを宣言します。

1. 早期の社会実装に貢献するGX製品

当社は、以下に関連するGX製品の早期社会実装に貢献します。

a.	分類	低炭素水素等
	対象	アンモニア
b.	分類	低炭素水素等
	対象	水素
c.	分類	GI基金支援技術を活用した製品
	対象	次世代型太陽電池の開発

2. 具体的な行動内容

当社は、前項で選択した事項に関連して、具体的には以下の行動を推進することで、GX製品の早期社会実装と社会のGXに貢献します。

a.	アンモニア
対象行動	宣言対象製品の調達・購買
概要	当社は、経済合理性、環境適合性、品質・安全性などの総合的判断に沿って、アンモニアを積極的に調達することで、燃料のアンモニアへの転換・導入を目指して、サプライチェーン全体のCO ₂ 排出量削減に貢献いたします。

b.	水素
対象行動	宣言対象製品の調達・購買
概要	当社は、経済合理性、環境適合性、品質・安全性などの総合的判断に沿って、水素を積極的に調達することで、燃料の水素への転換・導入を目指して、サプライチェーン全体のCO ₂ 排出量削減に貢献いたします。

c.	次世代型太陽電池の開発
対象行動	宣言対象製品の調達・購買
概要	当社は、経済合理性、環境適合性、品質・安全性などの総合的判断に沿って、ペロブスカイト太陽電池等の次世代型太陽電池を積極的に調達することで、電力の次世代型太陽電池への転換・導入を目指して、サプライチェーン全体のCO ₂ 排出量削減に貢献いたします。

3.サーキュラーエコノミーの推進

当社は、サーキュラーエコノミーを推進しGXを実現するため、自らのサーキュラーパートナーズ（CPs）への参画やリサイクル事業者との事業連携を進めるとともに、リサイクルアルミ原材料の調達を積極的に推進・拡大することによって、新たな資源の使用や消費を最小限に抑え、既存の資源の価値を最大化する経済システムの構築を目指します。

4.温室効果ガス削減目標の設定

当社は、サプライチェーン全体でのGXを推進すべく、Scope3の削減に向けて以下の目標を設定します。また、第2項に記載した行動内容が、Scope3の削減に対してどのような効果があるかを以下に示します。

※ 第2項に記載した行動内容がScope1,2の削減に資する場合は、Scope1,2の削減に関して以下に示します。

a.	アンモニア
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

b.	水素
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

c.	次世代型太陽電池の開発
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	

削減目標における選 択対象の位置づけ	
-----------------------	--

5.GX製品の社会実装促進に向けた目標の設定

当社は、前項に掲げた削減目標に基づき、以下の時間軸・定量的目標に沿って、第1項で選択したGX製品・技術及びそれらから派生するサービスの社会実装に貢献します。

a.	アンモニア
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

b.	水素
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

c.	次世代型太陽電池の開発
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

6.適用範囲

当宣言は、以下の範囲まで適用されます。

適用範囲	子会社 ※国内子会社（UACJ押出加工安城、UACJ押出加工群馬、UACJ押出加工滋賀、UACJ金属加工、UACJ製箔、日金、UACJアルミセンター、泉メタル、鎌倉産業の計9社）が適用範囲。
------	--

当社は、この宣言に基づいてGX価値を評価し、GX製品の早期の社会実装に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進してまいります。

2026年7月22日

株式会社UACJ
執行役員 ものづくり基盤本部長 紙谷 徳彦